

にほんじん かふんしょう 日本人のスギ花粉症

テレビの天気予報を見ると、いつも、晴れ、雨、曇りなどのテーマが出てくる。ところが、毎年2月に入ると、各県ごとに女性の顔が出てくる。その中には、マスク(口と鼻をおおう白い布)をしている女性もいるが、これは何のマークだろうか。インフルエンザ(流感)のマークではない。

かふんしょう もうい きせつ き かふん たいりょう と
花粉症が猛威をふるう季節が来たので、スギの花粉が大量に飛びそうな

けん じょせい ちゅうい よ かふんじょうほう
県の女性はマスクをして注意を呼びかけているのだ。これを「花粉情報」と呼んでいる。

かふん す こ びょうき かふんしょう い ひと たいない はい
花粉を吸い込んで、かかる病気を「花粉症」と言う。人には体内に入

いぶつ たんぱくしつ はいじょ めんえきはんのう たいしつ
た異物の蛋白質を排除しようとする免疫反応がある。アレルギー体質の

ひと ながねん かふん す めんえきはんのう かじょう お め
人が、長年スギの花粉を吸っていると、免疫反応が過剰に起こり、目、

はな ねんまく しげき め じゅうけつ なみだ と
鼻、の粘膜を刺激し、目が充血して、涙やくしゃみが止まらなくなる。

びょうき ねん まえ はっけん ぶんせき にほんじん
この病気は30年ほど前に発見された。アンケート分析によると日本人の

にん にん かふんしょう なや しょうじょう はな
10人に3人は花粉症に悩まされているそうだ。アレルギー症状は、鼻、

め あつとうてき おお た ひふ きかんし で
目が圧倒的に多く、その他、のど、皮膚、気管支などにも出る。

じょせい で たいしつ ひと がいしゅつ
マスクの女性が出たら、アレルギー体質の人は外出をひかえるか、

かふん め はな くち はい かぜ
花粉が目、鼻、口に入らないようにサングラスやマスクをしたうえで風の

む つよ き がいしゅつ
向きや強さに気をつけて、外出したほうがいいだろう。

かふん かぜ の と ち ようす み つよ かぜ ふ
スギの花粉が風に乗って飛び散る様子を見たことがある。強い風が吹く

なんぜんぼん おぼな かふん いっせい ふ と こめつぶだい
と、何千本というスギの雄花から花粉が一斉に吹き飛ばされる。米粒大の

おぼな ひと ひと やく まんこ かふん つ かふん かすみ
雄花の一つ一つに約40万個の花粉が詰まっている。この花粉が、霞のよう

はやし み
にたなびいて、スギの林が見えなくなるほどだ。

かふんしょう くさばな きた
花粉症をおこす草花は、北アメリカではブタクサ、ヨーロッパではカバ

き にほん かふんしょう わり かふんしょう し
の木やコナラなどだか、日本では花粉症の8割をスギ花粉症が占めてい

にほん き おお
る。それは日本にスギの木が多いからだ。

りゆう ふた だいいち りゆう だいにじたいせんご にほん あ こくど みどり
理由は二つある。第一の理由は、第二次大戦後、日本は荒れた国土を緑

なえ ぜんこくかくち う ねんご そだ
にしようとして、スギの苗を全国各地に植えた。20年後、そのスギが育ち、

まいとしはる かふん と だいに りゆう にほんじん
毎年春になると花粉が飛ぶようになったからだ。第二の理由は、日本人の

しょくせいかつ おうべいふう お い
食生活が欧米風になって、アレルギーを起しやすくなったからだと言

かふんしょう にほんじん げんだいびょう い
われている。スギ花粉症は、まさに日本人の現代病と言えるだろう。

かふんしょう くすり しょうじょう かる お かふん
花粉症は薬で、症状を軽く押さえることかできる。またスギの花粉

と がつはじ がつ きせつ お しぜん
が飛ぶのは、2月初めから4月にかけてで、この季節が終われば自然になお

く とない かふんしょうたいさく
る。それで、このシーズンが来ると、都内のデパートには花粉症対策グッ

め み かくしゃ しんがた
ズコーナーがお目見えし、メーカー各社からは、新型マスクから

じょうほうていきょう かふんしょうしょうせん はなざか
情報提供までの「花粉症商戦」が花盛りとなる。

とうきょうしんじゅく かふんしょうたいさく
東京新宿のデパートにオープンした「花粉症対策グッズ」コーナ
ーには、マスク、めがね、めぐすり びえんよう くすり くうきせいじょうき
目薬、鼻炎用の薬、空気清浄機、スチーム
きゅうにゆうき なら きゅうにゆうき さく せいさん お
吸入器などがずらりと並んだ。吸入器は「昨シーズンは生産が追い
つかなかったが、ことし ぞうさんたいせい すうしゃ
今年は増産体制をとっている」そうだ。数社が
きゅうにゆうき はつばい あらそ はじ
吸入器を発売しているので、シェア争いが始まっている。マスク、
めがねは、かふん み め
花粉をできるだけシャットアウトして、しかも見た目には
めだ しょうひん
目立たないことがポイントだそうで、商品のモニターテストでは
かふんしゃだんこうか ばあい
花粉遮断効果はかなりあることがわかった。マスクの場合は、ぬれた
まい なか かさ こうか
ガーゼ1枚をマスクの中に重ねることで、効果がさらにアップする
という。

くうきせいじょうき くうき かいてん じき くうちゅう かふん と
空気清浄機では、空気を回転させずに、磁気で空中の花粉を取り
のぞ どうじょう かいしゃ
除くタイプのものも登場している。またある会社では、
にほんきしょうきょうかい きょうりよく え かふんじょうほう
日本気象協会の協力を得て、スギ花粉情報のテレホンサービスを
かんとう はじ ほか ちほう じっし
関東を初め、他の地方でも実施するそうだ。

はるさき にほんじん きゅう ふ
さて、春先になって、マスクとサングラスをかけた日本人が急に増
えるわけが分かっただらうか。